



TITLE:

京都大学学術研究支援室(KURA)国際グループ 研究の国際化の推進 --
地域・文化を超える--

AUTHOR(S):

鮎川, 慧; 神野, 智世子; 園部, 太郎

CITATION:

鮎川, 慧 ...[et al]. 京都大学学術研究支援室(KURA)国際グループ 研究の
国際化の推進 --地域・文化を超える--. 2016: P_59.

ISSUE DATE:

2016-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/234542>

RIGHT:

京都大学学術研究支援室（KURA）国際グループ 研究の国際化の推進 ～地域・文化を超える～

鮎川 慧・神野 智世子・園部 太郎（京都大学 学術研究支援室）

「地域・文化を超える」ための3つのミッション

京都大学学術研究支援室 (KURA) は、“京都大学の知の創造活動を支援する世界トップクラスのリサーチ・アドミニストレーション集団”を目指し、多方面から大学の研究力強化に取り組んでいます。

KURA の国際グループメンバー7名は、「地域・文化を超え」ながら、**Connecting Research Worlds** を目指し、国際共同研究活動を充実させるために、大きく3つのミッションを掲げています。

- ① 国際共同研究の推進：プロジェクト形成のためのマッチングやチーミングから外部資金獲得、プロジェクト運営、成果発信までを一体的に手掛け、研究者が国際共同研究を推進しやすい環境づくりを行います
- ② 世界の研究大学との交流の促進：シンポジウムやコンソーシアムを通じ、パートナー大学との戦略的な交流を推進します
- ③ 海外研究者の派遣・受入体制の強化：本部の国際担当事務局と連携して、外国人研究者を支援します

また全学の国際戦略関係委員に就任（2委員会）し、役員や研究者、事務職員と連携して、大学全体の国際戦略の立案や実行に参画しています。

5つのアプローチ

ミッション達成に向けて私たちが使う戦略ツールは5つ。① 海外拠点、② 国際型学内ファンド、③ 国際シンポジウム、④ 海外ファンド獲得支援制度、⑤ 外国人研究者支援制度です。これらを組み合わせて活用することで、京都大学の「地域・文化を超え」た知の創造活動を支援しています。



3つの成功事例

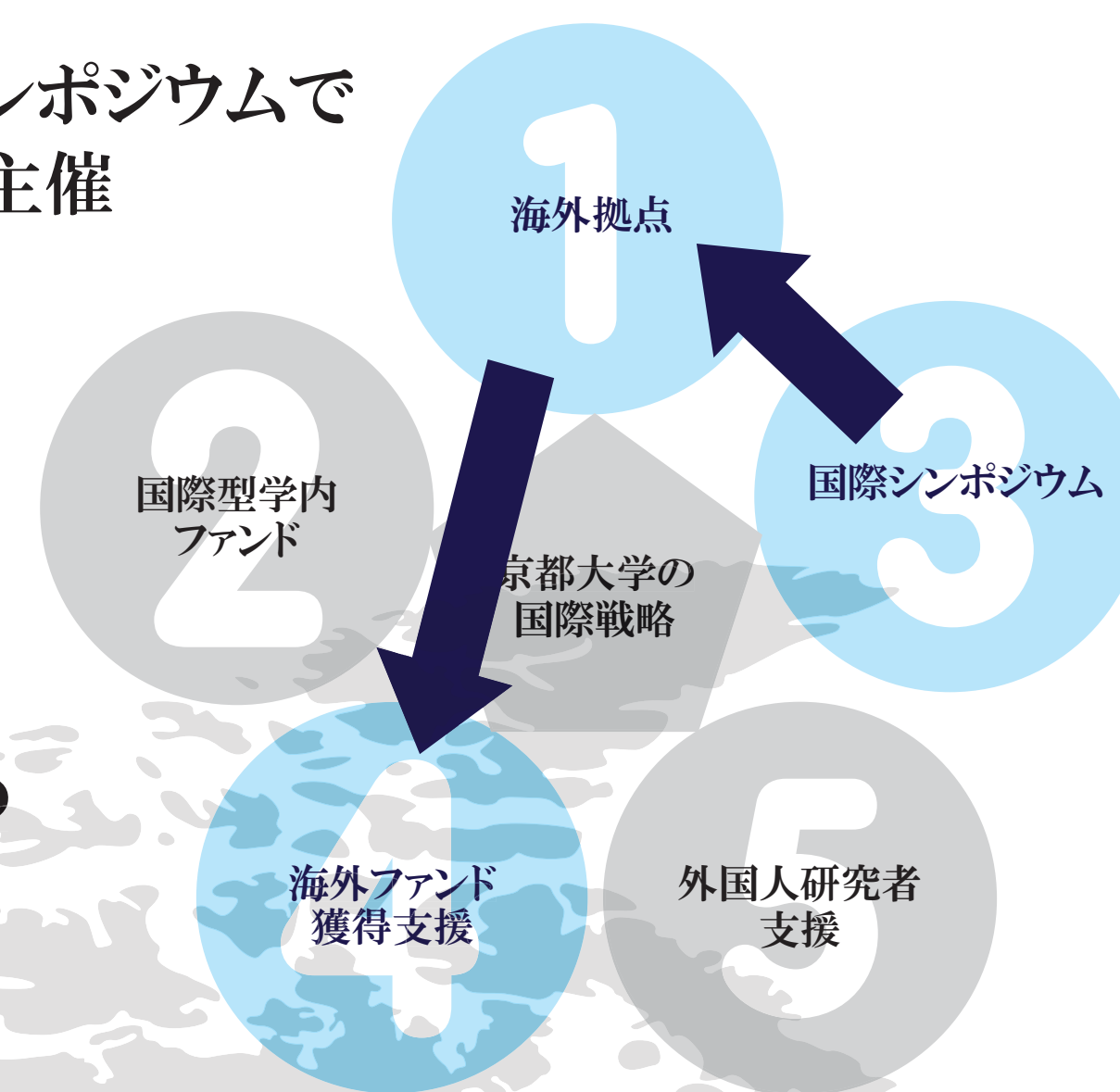
例① 工学研究科 A 先生

ボルドー大学との第1回全学シンポジウムで材料工学に関するセッションを主催

ボルドー大学のメンバーと、ナノ素材に関する共同研究が発足

ハイデルベルグオフィスの URA による支援で、CNRS と JST のマッチングファンド獲得

本格的な国際共同研究を開始



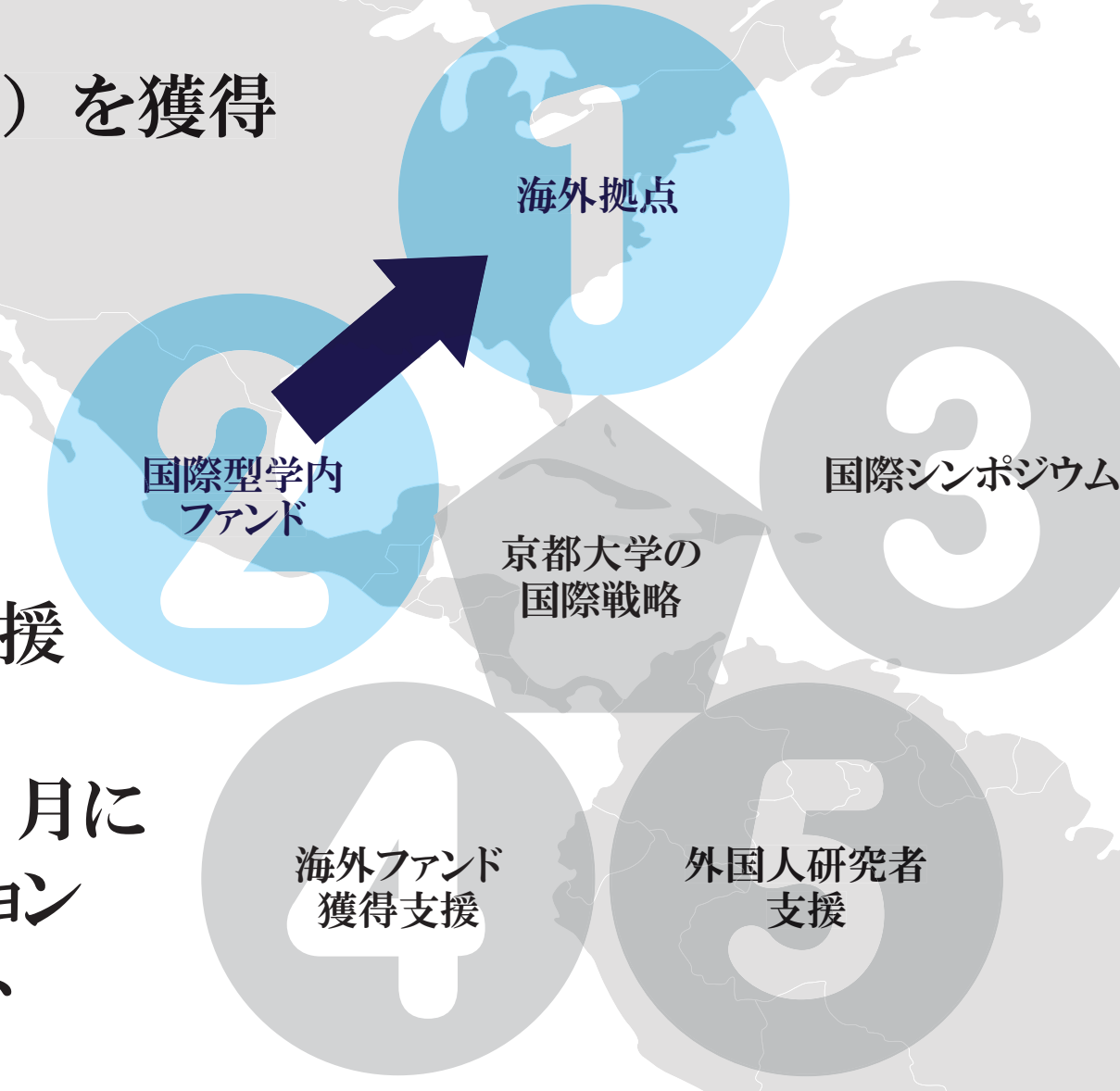
例② 東南アジア研究所 B 先生

学内ファンド SPIRITS (国際型) を獲得

URA が PM となり研究支援

ASEAN 拠点の URA がこの研究にマッチする JST の競争的資金を見つけ、申請支援

無事資金を獲得し、2016年2月に日 ASEAN 科学技術イノベーションプラットフォーム構築プロジェクト (JASTIP) が本格的に始動

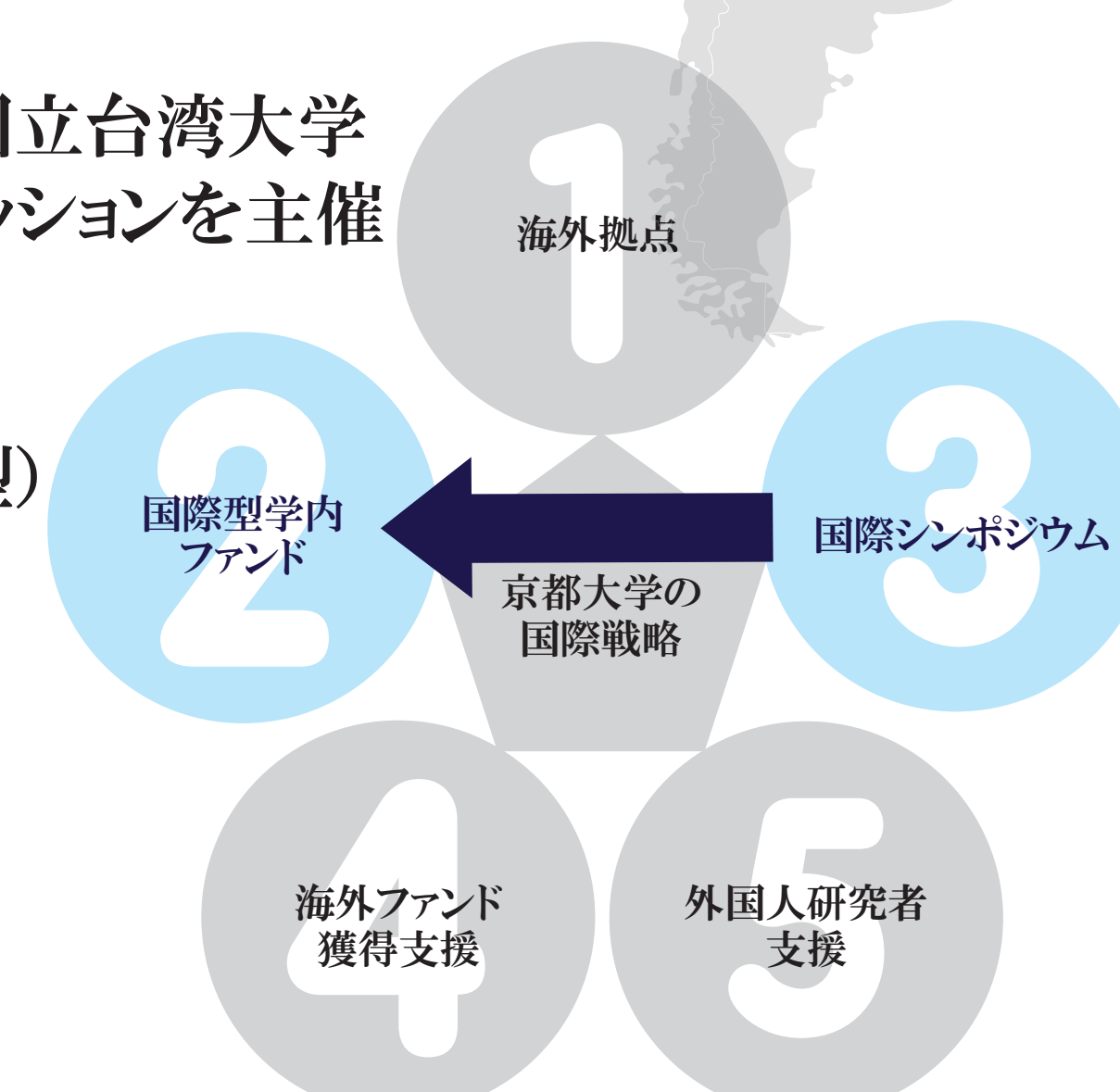


例③ 農学研究科 C 先生

第一回・第二回京都大学 - 国立台湾大学 共催シンポジウムで、農学セッションを主催

台湾大学とのメンバーで学内ファンド SPIRITS (国際型) を獲得

持続的な学術交流を目指した学生交流の進展



地域・文化を超えた知の創造活動へ